

作業部会（4月18日）での主な意見等

■ 時間外保育事業（延長保育事業）

- このニーズ量は、実感として少なく感じる。

■ 放課後児童健全育成事業（学童保育クラブ事業）

- 高学年（4～6年生）の学童保育クラブ希望については、3年生から4年生にかけて約半数、その上はさらに半数程度という感覚。
- 1年生と6年生が同一のスペースで活動することについて、事故などを含め考える必要があるのではないか。
- 高学年になったから保護者の働き方が変わるわけではないため、保護者は学童への入会を希望するが、子ども自身が希望したがることもある。
- 高学年は習い事などで希望が減少する傾向にある。
- 高学年のニーズは、三季休業中の利用希望なのではないか。
- 高学年のニーズをそのまま推計するのはやはり実態に合っていないのではないか。また、低学年の時間延長などサービス内容の充実は必要ではないか。

■ 地域子育て支援拠点事業（子育てひろば）

- 幼稚園では未就園児の親子に、子育てひろばと類似した活動をしている。
- 量の見込みの中には幼稚園で行われている活動をイメージした利用希望も含まれているのではないか。

■ 病児・病後児保育事業

- 利用実績よりも高いニーズとなっている背景には、利用したいときに利用できなかったという実感があるのかもしれない。